

1548

1247

前衛ニ屬スル工兵ハ其ノ用途ニ鑑ミ主力ヲ前兵ニ接行セシムルコト少カラズ
第百六十 前兵ハ敵トノ衝突ニ際シテハ前衛本隊ヲシテ機ヲ失セズ有利ノ
 態勢ニ展開シ得シムルヲ要ス
 前兵ノ兵力ハ前項ノ趣旨ニ合スル如ク通常前衛歩兵ノ三分ノ一以內及所要
 ノ騎兵ヲ以テ編組シ要スレバ一部ノ砲兵、工兵、消毒部隊等ヲ配屬スルモ
 ノトス
 前兵ト前衛本隊トノ距離ハ第一項ノ趣旨ニ合スル如ク之ヲ定メ師團ニ在リ
 テハ五百乃至千五百米ヲ標準トス
第百六十一 尖兵中隊ハ歩兵約一中隊ヲ以テ之ニ充テ狀況ニ依リ機關銃、
 歩兵砲、工兵等ヲ配屬スルモノトス
 尖兵中隊ト之ヲ出シタル部隊トノ距離ハ三百乃至五百米ヲ標準トス
 尖兵中隊長(尖兵中隊ナキ場合ニ於テハ尖兵長)ハ縱隊ノ進路ヲ誤ラザルコ

終戒 行軍間ノ警戒

八九

警戒 行軍間ノ警戒

九〇

トニ關シ責任ヲ有スルモノトス

第百六十二 尖兵ハ通常將校ノ指揮スル歩兵一小隊以下ノ兵力ヲ以テ之ニ充テ主トシテ進路上ノ搜索ニ任ゼシムルモノニシテ尖兵長ハ通常尖兵主力ノ前方ニ在リテ行進シ前方ニ發生スル事件ヲ速カニ判別スルヲ要ス

尖兵ト之ヲ出シタル部隊トノ距離ハ狀況ニ應ジ伸縮スルヲ常態トスルモ三百乃至四百米ヲ標準トス

第百六十三 前兵ニ屬スル騎兵ハ之ヲ騎兵尖兵ト爲スカ若クハ行進路側方ノ搜索ニ使用シ時宜ニ依リ此ノ兩者ノ爲使用ス

騎兵尖兵ハ長以下少數ノ兵力ヨリ成リ機隊ノ最先頭ヲ行進シ主トシテ進路上ノ搜索ニ任ジ當ニ背後ニ在ル部隊トノ連絡ヲ保持スルモノトス

第百六十四 前衛ニ屬スル騎兵ハ主トシテ前衛ノ爲ノ搜索ニ任ジ歩兵トノ連絡ヲ失ハザル如ク其ノ行動ヲ規正スルモノトス狀況ニ依リ之ニ歩兵等ヲ配屬ス

第百六十五 前衛ニ屬スル戰車ハ進路上ノ抵抗打破若クハ要點奪取等ノ爲
使用スルヲ通常トシ其ノ使用ノ目的ニ應ジ必要ナル方面ニ派遣シ或ハ前衛
ノ前方又ハ適宜ノ位置ヲ躍進セシム時トシテ別路ヲ配當スルヲ有利トスル
コトアリ

戰車ヲ前衛ノ主力ト遠ク分離シテ行動セシムル場合ニ於テハ自動車ニ搭乘
セル一部ノ歩、工兵等ヲ配屬スルヲ有利トスルコトアリ

第百六十六 側衛行及退却行ニ在リテモ所要ニ應ジ警戒、進路上ノ障礙排
除等ノ爲前衛ヲ設ク蔭蔽地或ハ敵ノ騎兵、機甲部隊、空挺挺進隊等ニ對ス
ル顧慮アル場合ニ於テ特ニ然リ而シテ其ノ兵力、編組及行動ハ之ニ課スベ
キ任務及當時ノ狀況ニ基キ之ヲ定ムルモノトス

第二節 側衛

第百六十七 側衛行ニ於ケル側衛ノ行動ハ概ネ左ニ準據スルモノトス

警戒 行軍間ノ警戒

1551

1220

警戒 行軍間ノ警戒

九二

一、主力縦隊ト併進シ其ノ側隊行動ヲ掩護ス
 二、要スレバ主力縦隊行進路ノ側方ニ陣地ヲ占領シテ其ノ通過ヲ安全ナ
 ラシム
 三、非常ノ場合ニ於テハ敵ヲ攻撃シテ之ヲ抑留シ我ガ主力縦隊ニ近迫ス
 ルコト能ハザラシム
 側隊ハ如何ナル場合ニ於テモ主力縦隊ヲシテ戦闘ヲ避ケシムルコト緊要ナ
 リ
 第百六十八 側隊ノ兵力、編組ハ狀況特ニ危險ノ大小ト地形トニ應ジテ之
 ヲ定メ且搜索及連絡ノ爲所要ノ部隊ヲ配屬スルヲ有利トス
 第百六十九 側隊ノ部署及警戒法ハ狀況ニ依リ異ナルモ主力縦隊ト併進ス
 ル場合ニ於テハ通常側兵等ヲ以テ側面ヲ警戒シ所要ニ應ジ側隊前兵、側隊
 後兵等ヲ以テ正面及背後ヲモ警戒スルモノトス
 第百七十 前進及退却行ニ在リテモ亦縦隊ノ側方ヲ警戒スルヲ要ス陸隊

1552

1223

地又ハ優勢ナル敵ノ騎兵、機甲部隊等ニ對スル顧慮アル場合ニ於テ特ニ然
リトス之ガ爲斥候ノミニテ十分ナラザルトキハ前(後)兵、前(後)衛本隊及
本隊ヨリ所要ノ側衛ヲ派遣ス
側衛ノ要度ハ前進行ニ於ケルヨリモ退却行ニ於テ大ナルヲ通常トス而シテ
退却行ニ於テハ騎兵ハ特ニ敵ノ迂回行動ヲ搜索スルコト緊要ナリ
側衛ハ本隊ニ比シ不良且長遠ノ進路ヲ行進スルコト多キヲ以テ派遣ノ時機
及要求スベキ行動等ニ關シ特別ノ注意ヲ必要トス

第三節 後衛

第七十一 退却行ニ於ケル後衛ノ行動ハ概ネ左ニ準據スルモノトス

- 一、本隊ニ續行シツツ其ノ退却ヲ掩護ス
- 二、要スレバ陣地ヲ占領シテ敵ノ前進ヲ拒止ス
- 三、非常ノ場合ニ於テハ全隊ノ爲犠牲トナリ以テ本隊ノ退却ヲ容易ナラ

警戒 行軍間ノ警戒

九三

シム

後衛ハ常ニ敵ノ迂回若クハ包圍ヲ受ケ易キヲ以テ特ニ搜索ヲ周密ニシ又隣接シテ退却スル部隊ノ後衛アルトキハ之ト連絡スルコト緊要ナリ

第百七十二 後衛ノ兵力、編組ハ本隊ノ狀態、危險ノ大小、地形、明暗ノ度等ヲ考慮シ本隊ノ援助ヲ酌算スルコトナクシテ其ノ任務ヲ遂行シ得ル如ク之ヲ定ムルモノトス而シテ警備ノ爲ニハ騎兵及砲兵ノ兵力ヲ大ナラシムルヲ有利トシ、輕強ナル抵抗ヲ豫期スルトキハ步兵特ニ機關銃及對戰車火砲並ニ阻絶、發射等ノ作業ニ任ズル部隊ヲ大ナラシムルヲ必要トシ尙戰車、自動車等ヲ配屬スルヲ得バ有利ナリ

後衛ト本隊トノ距離ハ本隊ノ行進遲滯ヲ考慮シ前衛ニ於ケルヨリモ大ナラシムルヲ通常トス

第百七十三 後衛ハ通常後衛本隊及後兵ニ區分シ後衛ニ有力ナル騎兵ヲ配屬セラレタルトキハ別ニ之ヲ後方又ハ危險ナル側方ニ使用スルモノトス

1554

1921

後兵ハ通常後衛尖兵中隊ヲ、後衛尖兵中隊ハ通常後衛尖兵ヲ出シテ警戒ス
ルモノトス
阻絶、破壊等ノ作業ニ任ズル部隊ハ作業ノ所要時間ヲ考慮シ通常先行セシ
ムルヲ有利トス
第百七十四 側隊行及前進行ニ在リテモ背後ノ警戒ヲ必要トスル場合ニ於
テハ後衛ヲ設ク而シテ其ノ兵力、編組及行動ハ時ノ状況ニ應ジ之ヲ定ムル
モノトス

第四節 騎兵及機械化部隊ノ警戒

第百七十五 獨立シテ行動スル騎兵部隊ノ警戒ハ本章第一乃至第三節ノ要
領ニ準ジ部署スベシト雖モ其ノ搜索力ノ優秀ナルト兵力ノ集結ヲ必要トス
ル特性トニ鑑ミ成ルベク警戒部隊ニ用フル兵力ヲ節約シ勉メテ梯次ノ警戒
區分ヲ省略シ且適宜各梯隊間ノ距離ヲ増大スルモノトス

警戒 行軍間ノ警戒

九五

第百七十六 獨立シテ行動スル騎兵部隊敵飛行機、機甲部隊等ニ對スル警戒ノ爲ニハ巧ニ地形ヲ利用シ進路、休憩地、行動時期等ノ選定ヲ適切ニシ勉メテ其ノ行動ヲ秘匿シ以テ其ノ警戒ヲ容易ナラシムルト共ニ敵ノ機甲部隊ニ對シテハ有利ノ地點ニ於テ其ノ行動ヲ阻止セシガ爲成ルベク遠ク搜索スルヲ可トス

第百七十七 獨立シテ行動スル機械化部隊ノ警戒ハ騎兵ノ警戒要領ニ準ズルノ外特ニ敵飛行機ニ對スル警戒ヲ嚴ニシ且速度、地形等ヲ利用シテ企圖及行動ノ秘匿ニ勉メ又彼我一般ノ狀況ヲ明カニシ以テ不慮ノ危険ナカラシムルト共ニ進路上ノ障礙ニ關シ細心ノ注意ヲ拂フコト緊要ナリ

第二章 駐軍間ノ警戒

要則

1556

129A

警戒 駐軍間ノ警戒

九七

第百七十八 駐軍間ノ警戒ハ主トシテ前哨ヲ以テ之ヲ行フモノトス
 第百七十九 警戒部隊ノ兵力、編組、配置、指揮ノ系統、勤務ノ方法等ハ
 我が軍ノ目的、彼我ノ状態、地形、明暗ノ度、警戒時間ノ長短等ヲ考慮シ
 之ヲ定ムルモノニシテ一定ノ形式ニ陥ルコトナク且一旦之ヲ定ムルモ爾後
 要スレバ適宜修正ヲ加ヘ常ニ状況ノ推移ニ適應セシムベキモノトス
 第百八十 敵トノ距離大ニシテ主トシテ敵ノ快速戰車、騎兵斥候等ニ對ス
 ル顧慮アルニ過ギザル狀況ニ於テハ單ニ敵方ニ近キ各宿營地毎ニ直接警戒
 ヲ行ヒ要スレバ小ナル部隊ヲ以テ前哨ニ任ジ敵方ニ通ズル道路ノ要點ヲ占
 領セシムレバ足ル然レドモ機甲部隊等ノ急襲ヲ受クルノ虞アルニ至レバ前
 哨ノ兵力ヲ増大シ搜索ヲ遠距離ニ及シ適時之ヲ拒止スルノ方法ヲ講ズルコ
 ト必要ナリ
 敵ト近接シ敵襲ヲ受クルノ虞増大スルニ伴ヒ一層警戒ヲ嚴ナラシムル爲所
 要ノ前哨部隊ヲ配置シ各種ノ工事及連絡ノ施設ヲ整ヘ要スレバ警戒地域ヲ

1557

1220

警戒 駐軍間ノ警戒

九八

敵前哨區ニ分チ各區ニ前哨部隊ヲ置キ各宿營部隊モ亦直接警戒ヲ嚴ナ
 ラシムルモノトス
 敵ト一層近接シ軍隊全部ノ戦闘準備ヲ必要トスルニ至レバ前哨ハ主トシテ
 戦闘上ノ考慮ニ基キテ部署ヲ定ム而シテ敵ニ關スル觀察益々大ナルニ從ヒ
 前哨ノ兵力ヲ増大シ其ノ警戒組織ヲ益々周密ニシテ前哨各部ノ區分ヲ廢
 シ主力ヲ以テ陣地ヲ占領シ戰鬥準備ヲ整フルニ至ルモノトス
 第百八十一 敵ト近接シテ廣地域ニ位置スル部隊又ハ廣漠地ニ駐止スル部
 隊等兵力ニ比シ大ナル正面ヲ警戒セザルベカラザルトキハ統一セル前哨ヲ
 設クルコトナク勉メテ各部隊相互ニ掩護セシムル如ク其ノ配宿ヲ定メ各宿
 營部隊ノ擔任スベキ警戒地域、連絡法等ヲ示シ宿營地毎ニ必要ナル前哨ヲ
 配置シ警戒セシムルヲ通常トス
 第百八十二 前哨ハ通常歩兵ヲ以テ之ニ充テ所要ニ應ジ騎兵、砲兵、工兵、
 通信部隊等ヲ配屬スルモノトス

第百八十三 統一セル前哨ヲ設クル場合ニ於ケル一前哨區ノ兵力ハ通常歩
 兵一大隊以下トシ之ヲ前哨大(中)隊等ト稱ス
 數箇ノ前哨區ヲ設ケクル場合ニ於テハ之ヲ統一スベキ前哨司令官ヲ置クコ
 トアリ
 第百八十四 警戒地域ノ境界ハ成ルベク天然ノ地形ニ依リ且敵ノ近接シ易
 キ主要ナル道路及地區ハ勉メテ之ヲ境界線上ニ在ラシメザル如ク定ムルコ
 ト特ニ緊要ナリ
 第百八十五 前哨大隊ハ通常前哨中隊ヲ、前哨中隊ハ通常小哨又ハ歩哨ヲ、
 小哨ハ歩哨ヲ出シテ警戒ス狀況ニ依リ前哨大隊若クハ更ニ後方ノ部隊ヨリ
 直チニ其ノ前方或ハ側方ニ小哨ヲ配置スルコトアリ
 第百八十六 前哨ヲ配置スルニハ主要ナル道路及敵ノ近接容易ナル地區ヲ
 警戒シ所要ニ應ジ敵方ヲ展望スルニ便ナル地點及敵側ヨリ我が狀況ヲ觀察
 スルノ處ヲ地點要スルハ更ニ檢閲ノ考慮上必要ナル地點ヲ占領シ時トシ

警戒 駐軍間ノ警戒

一〇〇

テ一部隊ヲ前方ノ地障線上或ハ交通路上ノ要點ニ派遣スルコトアリ而シテ
 常ニ側背ノ警戒ニ關シ遺漏ナキヲ期セザルベカラズ
 敵機甲部隊ノ急襲ニ對シテハ地形ノ利用ヲ巧ニシ地雷、陷穽其ノ他ノ方法
 ニ依リ進路ヲ阻絶シ所要ノ火炮ヲ配置スルヲ要ス此ノ際地障線等ヲ利用シ
 成ルベク遠ク敵ヲ拒止スルヲ有利トス
 第百八十七 前哨ニ屬スル機關銃、歩兵砲、砲兵等ハ敵襲ノ虞アル地區ニ
 對シ抗戰スルニ適スル陣地附近ニ位置セシムルモノトス又前哨ニ屬スル騎
 兵ハ搜索及傳令ニ使用スベキモノニシテ搜索ノ爲ニハ晝間通常前方ニ行動
 セシメ夜間ニ於テモ其ノ一部ヲ前方ニ留メ監視ニ任ゼシムルコトアリ
 第百八十八 前哨ハ常ニ戰備ヲ整ヘ敵襲ニ際シテハ全力ヲ盡クシテ抗戰ス
 ルモノトス
 前哨各部隊及哨兵ハ連絡施設及交通路要點ノ阻絶、障礙物ノ設置、掩蔽ノ
 構築、交通設備、遮蔽、偽裝等ニ關シ必要ノ處置ヲ講ズルモノトス

前哨ノ爲構成スベキ通信網ハ勉メテ其ノ警戒配備ヲ終ル迄ニ之ヲ完了スルヲ要ス

第百八十九 前哨ハ敵ノ搜索ヲ妨グルト共ニ適時奇襲ヲ豫知スル爲必要ナル範圍ノ搜索ヲ行フモノトス而シテ敵ト近接スルニ至レバ晝夜ヲ問ハズ接觸ヲ保持シ常ニ其ノ狀況ヲ明カニシアルコト緊要ナリ

第百九十 駐軍長キニ互レバ前哨ハ工事、連絡等ノ諸施設ヲ益々完全ニシ各種ノ手段ヲ盡クシテ警戒ニ遺憾ナカラシムルト共ニ兵力ノ愛護ヲ圖ルコト緊要ナリ而シテ其ノ配備ハ所要ニ應ジ之ヲ變更シ敵ヲシテ乘ズルノ隙ナカラシムルヲ要ス

第百九十一 對障長キニ互ル場合、他國軍ト協同スル場合其ノ他必要ナル場合ニ於テハ通常高級指揮官ハ合言葉ヲ定ムルモノトス

前哨大隊長若クハ前哨中隊長ハ要スレバ夜間互ニ相識ルコトヲ容易ナラシムル爲識別法ヲ定ムルヲ可トス

警戒 駐軍間ノ警戒

101

1561

1280

警戒 駐軍間ノ警戒

1011

第一節 行軍間ノ警戒ト駐軍間ノ警戒ト

ノ相互ノ轉移

第百九十二 高級指揮官宿營ニ決セバ遠カニ各部隊ノ宿營スベキ地域要スレバ爾後ノ企圖及豫想スル駐止時間等ヲ示シ警戒ニ關シ所要ノ命令ヲ下ス
第百九十三 前衛司令官ハ高級指揮官ノ命令ニ基キ速カニ前哨ニ任ズベキ部隊ヲ指定シ其ノ行動ヲシテ最モ迅速ナラシムル爲通常左ノ事項申先ゾ須要ノ件ニ關シ命令スルモノトス

全般ノ狀況

前衛司令官ノ企圖及前衛本隊ノ所在
前哨ノ編組、任務要スレバ前哨區ノ境界
後方ノ部隊又ハ前衛本隊ヨリ直接派遣スベキ警戒部隊アルトキハ其ノ位

置、部隊號、任務等ニ關スル事項
 連絡ニ關スル事項
 要スレバ給養、防空、瓦斯防護等ニ關スル事項
 前衛司令官ノ位置等
 爾後前衛司令官ハ前衛本隊ノ爲所要ノ命令ヲ下シ休止ニ移ラシムルト共ニ
 要スレバ前哨ニ與ヘタル命令ヲ補足スルモノトス、
 前衛司令官ハ前哨ヲ配置スルモ警戒及比隣部隊トノ連絡ニ關シ責任ヲ有ス
 第百九十四 各宿營地毎ニ前哨ヲ配置スル場合ニ於テ當該宿營地ニ在ル高
 級先任ノ指揮官ノ行軍間ノ警戒ヨリ駐軍間ノ警戒ヘノ轉移ニ關スル處置及
 責任ハ第百九十三ニ準ズ
 前項ノ場合高級先任ノ指揮官ハ食(露)營司令官ヲシテ其ノ處置及責任ヲ執
 ラシムルヲ有利トスルコトアリ
 第百九十五 前哨大隊長ハ前衛命令ヲ受クルヤ前哨ノ配置ニ關シ先ヅ緊急

警戒 陸軍間ノ警戒

1011

ノ處置ヲ迅速ニ實行セシムル爲必要ノ命令ヲ下ス而シテ此ノ命令ハ爲シ得
レバ行軍中ニ下達スルヲ要ス此ノ際敵トノ接觸ヲ保持シ若シ之ヲ失ヒタル
トキハ速カニ恢復ヲ圖ルコト緊要ナリ

前項ノ命令ニ包含セシムベキ事項概ネ左ノ如シ

全般ノ狀況

前哨大隊長ノ企圖

騎兵ノ任務

前哨中隊其ノ他直接前哨大隊ヨリ出ス警戒部隊ノ編組、任務、行動（位

置、警戒地域、敵襲ニ際シ取ルベキ處置要スレバ前哨抵抗線時トシテ

歩哨線ノ位置、對空ノ處置、瓦斯防護ニ關スル事項等）

前哨大隊ノ所在

連絡施設

前哨大隊長ノ位置等

1564

1289

前項ノ命令ト同時若クハ現地視察後速カニ概ネ左ノ事項ニ關シ命令スルモ
ノトス

機關銃、歩兵砲、砲兵、工兵等ノ行動中前哨中隊及小哨ニ關係アル事項」
道路ノ阻絶、障礙物ノ設置、交通ノ設備等ニ關スル特別處置

工事援助ノ爲前遣スベキ部隊アルトキハ其ノ行動

戰備ノ度

冬

給養ニ關スル事項等

前衛司令官ヨリ直接出サレタル前哨中隊長並ニ各宿營地毎ニ警戒スル場合
ニ於ケル前哨ノ指揮官ノ行動モ亦前諸項ニ準ズ

第百九十六 前哨ノ各部隊ハ命令ヲ受クルヤ自ラ警戒法ヲ講ジ成ルベク遮
蔽シテ迅速ニ所定ノ位置ニ赴クモノトス

第百九十七 行軍ヨリ駐軍ニ移ルニ際シ前方ニ派遣セラレアル前衛ノ騎
兵、戰車、輕裝甲車等ハ別命ナキト雖モ通常警戒ニ便ナル要點ニ位置

精進 駐軍間ノ警戒

一〇五

シテ搜索ニ從事スルモノトス而シテ後方ニ於ケル配備完了セバ前衛司令官ハ此等ヲ安全ノ地ニ歸來シ宿營セシムルヲ通常トス狀況ニ依リ騎兵ヲシテ歩哨線ノ前方ニ在リテ警戒及搜索ニ任ゼシムルコトアリ何レノ場合ニ於テモ前哨ハ此等ノ部隊トノ連絡ヲ保チ前方ノ狀況ヲ明カニスルヲ得バ有利ナリ

第百九十八 宿營セル軍隊前進セントスルトキハ通常前哨ノ掩護ニ依リ新ナル警戒部隊ヲ前進セシメ然ル後前哨ヲ撤スルヲ有利トス

第百九十九 退却行及側敵行ニ於ケル行軍間ノ警戒ト駐軍間ノ警戒トノ相互轉移ニ關シテハ本節ヲ準用スルモノトス

第二節 前哨大隊

第二百 前哨大隊ハ敵襲ニ際シ前哨中隊及直接前哨大隊ヨリ派遣シクル小哨ヲ増援シ狀況ニ依リテハ之ヲ收容ス之方爲通常交通便利ナル要點ニ位置

スルモノトス

第二百一 前哨大隊長ハ前哨ノ配置良ク時ノ状況ニ適スルヤ否ヤニ就キ其ノ責任ヲ隣接スル前哨トノ連絡及各前哨中隊相互間ノ連絡ヲ確實ナラシメ要スレバ連絡ノ爲特ニ一部隊ヲ配置シ又遮蔽地ヲ通ジテ前哨ヲ配置スルトキハ道標ヲ設ケ交通路ヲ開設スル等所與ノ設備ヲ行フモノトス長ク敵ト對峙スルガ如キ場合ニ於テ特ニ然リ

第二百二 前哨大隊長ハ前哨大隊ニ於ケル各部隊ノ行動、設備ノ度、直接警戒、瓦所防護、給養等ニ關スル事項ヲ定ムルモノトス

對空監視ノ爲ニハ通常對空班ヲシテ前哨大隊ノ位置要スレバ其ノ附近適當ノ地點ニ對空監視哨ヲ配置セシム時トシテ前哨中隊ノ對空監視法ヲ指定スルコトアリ

第二百三 前哨大隊長ハ前哨大隊ノ位置ヲ定位トシ所與ノ連絡機關ヲ備ヘ狀況嚴ナル警戒ヲ要スルトキハ前哨各部隊及隣接前哨間ハ電話ニ依リ連絡

警戒 駐軍間ノ警戒

107

ヲ保持セシムルヲ要ス
前哨大隊長若シ前哨各部ノ警戒法ヲ觀察シ又ハ其ノ他ノ事由ニ由リ定位ヲ
離ルルトキハ高級先任ノ將校ヲシテ代リテ其ノ職務ヲ執ラシメ且當ニ其ノ
所在ヲ明カナラシメ置クヲ要ス

前哨中隊長及小哨長ニモ亦前項ノ規定ヲ適用ス

第二百四 前哨大隊長ハ速カニ其ノ配備ヲ報告シ爾後前哨中隊等ノ報告到
著セバ更ニ之ヲ補足スルモノトス

第三節 前哨中隊

第二百五 前哨中隊ハ通常主要ナル抵抗線ヲ成形スルモノニシテ別命ナケ
レバ極力敵襲ヲ拒止スベキモノトス故ニ前哨中隊ハ此ノ目的ニ適スル要點
ニ配置シ時トシテ機關銃、歩兵砲、砲兵、工兵等ヲ配屬スルコトアリ
第二百六 前哨中隊ノ數ハ敵情、地形特ニ警戒正面等ニ依リ異ナルモノト

警戒 駐軍間ノ警戒

一〇九

ス
前哨中隊ニハ特別ノ番號ヲ附スルコトナク、各、其ノ中隊ノ番號ニ前哨ノ語
ヲ冠シテ稱呼スルモノトス
第二百七 前哨中隊ノ配備ハ敵情、地形、道路網等ニ依リ異ナルモ通常小
哨時トシテ歩哨ヲ配置スルノ外時々必要ナル方面ニ斥候、巡察ヲ派遣シテ
警戒シ敵襲ニ對シ常ニ戰備ヲ缺カザルコトニ關シテハ中隊長身ヲ以テ其ノ
責ニ任ズルモノトス
第二百八 前哨中隊長ハ通常先ヅ速カニ中隊ノ位置及警戒ノ部署ヲ定メ
各、其ノ配置ニ就カシメ爾後自ラ現地ヲ觀察シテ所要ノ修正ヲ爲シ且敵襲
ニ際シ取ルベキ處置、所要ノ工事、戰備ノ度、中隊ノ諸勤務等ヲ定ム
中隊ヨリ支分スル兵力ハ勉メテ之ヲ節約シ中隊主力ノ抵抗カヲ減殺セザル
コト緊要ナリ
第二百九 前哨中隊長ハ成ルベク速カニ其ノ配備 晝夜ニ依リ異ナル
モノハ之ヲ區別スルヲ報告

シ且比隣ノ前哨部隊爲シ得レバ前哨線ノ前方ニ在ル部隊ニモ之ヲ通報スルモノトス

第二百十 中隊戦備ノ度ニ關シテハ中隊及小哨ヲ掩蔽下ニ入ラシムベキヤ、天幕ヲ使用セシムベキヤ、下士官兵ノ一部ハ銃ヲ手ニシアルベキヤ、竝ニ假眠ヲ許スベキ範圍、服裝、炊事、採暖、防空、瓦斯防護等ニ就キ必要ナル事項ヲ定ムルモノトス

前哨中隊ノ一部ハ常ニ又銃線ノ側ニ在リテ戰備ヲ整ヘ許可ヲ得ルニアラザレバ一名ト雖モ中隊ノ位置ヲ隠ルベカラズ又馬ハ許可ヲ得ルニアラザレバ鞍ヲ卸サザルモノトス

前哨中隊ニ於テ炊事ヲ行ヒ或ハ焚火ヲ爲スノ止ムヲ得ザルトキハ火煙ヲ暴露セザル如ク細心ノ注意ヲ必要トス

第二百十一 前哨中隊ノ位置ニハ直接警戒ノ爲銃前哨要スレバ更ニ防空監視哨ヲ設クルモノトス

銃前哨ハ通常軍哨トスルモ中隊掩蔽下ニ入ルカ或ハ地形陰蔽セルトキハ通常複哨トシ狀況ニ依リ其ノ箇數ヲ増加ス

第二百十二 軍使來リシトキ豫メ指示ナキ場合ニ於テハ前哨中隊長ハ歩哨線外ニ於テ來意ヲ酌キ軍使ハ直チニ歸去セシメ後之ヲ上級指揮官ニ報告スルモノトス

小哨ヨリ送付シ來リタル者ニシテ我が軍ニ屬スルコトヲ確認スル能ハザル者、暴動疑ハシキ者、投降者、俘虜及間諜ニ對シテハ監視者ヲ附シ直チニ上級指揮官ノ許ニ送付スルモノトス此ノ際監視者ハ此等ノ者ト談話スベカラズ

第四節 小哨

第二百十三 小哨ハ歩哨ノ支援及後援タルモノニシテ警戒上ノ要點ニ位置シ必要ナル搜索ヲ行ヒ敵襲ニ際シテハ其ノ後方ノ部隊ヲシテ戰備ヲ整フル

警戒 駐軍間ノ警戒

一一一

ノ時間ヲ得シムルモノトス
小哨ハ前哨中隊ヨリ出サレタルトキハ同中隊内ニ於テ右翼ヨリ順次一連ノ番號ヲ附シ前哨中隊以外ヨリ出サレタルトキハ當該指揮官適宜命名スルモノトス

第二百十四 小哨ハ其ノ重要ノ度ニ應ジ一小隊以下ノ兵力ヲ以テ之ニ充ツ
狀況特ニ之ヲ要スレバ機關銃、對戰車火砲、携帶地雷、犬等ヲ配屬スルコトアリ

第二百十五 小哨ハ敵ニ關スル觀察大ナラザル狀況ニ於テハ主トシテ敵方ニ通ズル道路及重要ナル地點ニ步哨ヲ配置シ其ノ間隙ニハ所要ニ應ジ斥候、巡察ヲ派遣シテ警戒セシムルヲ通常トス然レドモ晝間開豁地ニ於テハ單ニ展望哨ヲ出シテ監視セシムルヲ以テ足レリトスルコトアリ

小哨ハ警戒嚴ナルヲ要スルニ從ヒ步哨ヲ互ニ近ク相接シテ配置シ以テ一人ト雖モ其ノ眼ヲ迷レ射撃ヲ受クルコトナク步哨線ヲ通過スルヲ得ザラシム

ルモノトス之方爲夜間又ハ濃霧等ノ際ハ一層近ク歩哨ヲ相接セシムルヲ要スルコトアリ

第二百十六 小哨長警戒ニ關スル任務ヲ受クレバ速カニ斥候ヲ派遣シテ歩哨配置間ノ警戒ニ任ゼシメ且前方ノ地形ニ通曉セシムルヲ要ス

第二百十七 小哨長歩哨ヲ配置スルニハ通常歩哨掛又ハ分哨長ヲシテ各哨所ニ廻スル兵交代ヲ引率シ豫定哨所ニ分進セシメ爾後自ラ各哨所ニ到リ特別守則ヲ與ヘ必要ナル事項ヲ規定ス

豫メ哨所ヲ鑑定スル能ハザルカ或ハ哨所ノ指示困難ナルトキハ豫想スル人員ヲ率キ必要ナル地ヨリ逐次ニ配置ス

狀況ニ依リ前二項ノ方法ヲ併用スルコトアリ

特別守則ハ之ヲ歩哨掛又ハ分哨長ニ與ヘ同時ニ各兵ニモ聴聞セシムルモノトス

第二百十八 歩哨ノ交代法ハ軍隊ノ狀況、敵情、季節等ヲ考慮シテ小哨長

警戒 駐軍間ノ警戒

一一三

警戒 駐軍間ノ警戒

一一四

之ヲ定ム而シテ長期ノ駐軍間ニ在リテハ時々交代法ヲ變更スルヲ有利ト
ス
歩哨ノ配置及交代ノ際其ノ位置ヲ敵ニ察知セシメザルコトニ就テハ特ニ注
意スルヲ要ス
第二百十九 小哨長ハ歩哨配置ノ爲出發ニ先ダテ通常小哨ノ位置ヲ定メ其
ノ直接警戒爲シ得レバ工事ノ諸準備ヲ命ジ置クモノトス
小哨長ハ歩哨ノ配置終レバ速カニ銃前哨ヲ配置シ之ニ特別守則ヲ與ヘテ小
哨直接ノ警戒ニ任ゼシメ且所要ノ工事ヲ行ヒ又歩哨及銃前哨ニ充テザル者
ヨリ若干ノ斥候、巡察ヲ區分シ殘餘ノ者ヲ以テ其ノ他ノ勤務ニ充ツルモ
ノトス
歩哨ノ配置ヲ終レバ小哨ハ銃ヲ銃架ニ托シ或ハ又銃セシム又擲彈筒ハ背囊
ヨリ脱シ通常之ヲ小銃ノ附近ニ置カシメ輕機關銃ハ之ヲ銃架(又銃)ノ附近
ニ置クカ或ハ陣地ニ就カシム極寒時ニ於テハ特ニ此等兵器ノ保温ニ關シ注

1574

1574

意スルコト緊要ナリ
 第二百二十 小哨長ハ成ルベク速クニ其ノ配置^{晝夜ニ依リ異ナル}モノハ之ヲ區別スルヲ報告シ且
 隣接スル前哨部隊ニ連絡スルモノトス
 第二百二十一 小哨ノ戦備ヲ確實ナラシムルハ小哨長ノ重要ナル責任トス
 特ニ軍隊疲勞セル場合或ハ駐軍長キニ互ル場合ニ於テハ警戒心ニ弛緩ヲ生
 ゼシメザルコト緊要ナリ
 小哨長ハ小哨ニ在ル者ノ背囊ヲ卸サシメ又上級指揮官ノ定ムル所ニ依リ交
 互ニ假眠セシムルコトヲ得
 小哨ノ位置ニ在ル下士官以下ハ常ニ銃劍^{短剣}及防巻面ヲ身體ニ著ケ且許可
 ヲ得ルニアラザレバ一名ト雖モ小哨ノ位置ヲ離ルベカラズ
 第二百二十二 小哨長ハ晝間^{晝間}警戒地域ヲ監視シテ地形ヲ認識スルト共
 ニ下士官以下ニモ機會アル毎ニ地形ヲ認識セシメ置クヲ要ス然レドモ夜間
 ニ於テハ小哨長ハ勉メテ定位ニ在ルヲ要ス

警戒 駐軍間ノ警戒

二二五

第二百二十三 小哨長ハ歩哨ヨリ報告シ來リタル者ニシテ我が軍ニ屬スルコトヲ確認セバ歩哨線ノ通過ヲ許シ然ラザル者及我が軍ニ屬スル間諜ハ監視者ヲ附シ直チニ之ヲ上級指揮官ノ許ニ送付スルモノトス此ノ際監視者ハ此等ノ者ト談話スベカラズ

軍使來リシ場合ニ於テハ直チニ之ヲ上級指揮官ニ報告スルモノトス

第五節 歩哨

第二百二十四 歩哨ハ通常最前線ノ監視線ヲ形成スルモノトス故ニ歩哨ハ任務ノ重大ナルニ鑑ミ常ニ身ヲ以テ其ノ責ニ任ゼザルベカラズ

第二百二十五 歩哨ヲ分チテ分哨及複哨トシ分哨ハ重要ナル方或ハ交代不便ナル地點等ニ配置ス

歩哨ハ之ヲ出シタル部隊毎ニ右翼ヨリ順次一連ノ番號ヲ附シ第一分哨、第二複哨等ト稱呼ス

1576

1233

第二百二十六 分哨ハ通常哨長タル下士官又ハ上等兵以下四乃至七名トシ
 狀況ニ依リ更ニ其ノ兵力ヲ増加シ時トシテ輕機關銃ヲ附スルコトアリ
 分哨ハ通常一部ヲ以テ監視ニ任ゼシメ爾餘ハ直接其ノ近傍ニ在リテ待機シ
 勉メテ遮蔽シアルモノトス但シ全員常ニ銃ヲ手ニシアルヲ要ス
 極寒時等ニ於テハ分哨ト雖モ短時間内ニ交代セシムルヲ要スルコトアリ
 第二百二十七 複哨ハ所要ノ兵員ヲ步哨掛タル下士官又ハ上等兵ノ指揮ニ
 屬シ通常二乃至四名ツツ交代服務セシムルモノトス而シテ二人哨ハ小哨ニ
 近キカ或ハ警戒容易ナル地點ニ配置スルヲ通常トス
 小哨ヨリ複哨ヲ出ス距離ハ通常四百米以内トス
 第二百二十八 步哨ハ小哨長ノ命ニ依リ背後ヲ小哨ノ位置ニ殘置スルヲ通
 常トス
 步哨ニハ通常手榴彈與スレバ眼鏡、擲彈筒、對敵草地雷等ヲ携行セシム此
 等ノ使用ニ關シテハ所要ニ應ジ小哨長之ヲ指示スルモノトス

發成 陸軍附ノ發成

一一七

1527

1230

發成 駐軍間ノ發成

一八

第二百二十九 歩哨ノ位置ハ成ルベク十分ナル展望ヲ有シ且敵ニ對シテ遮
蔽シ得ルヲ要ス之ガ爲樹木、家屋、堆土等ヲ利用シ要スレバ眼鏡ヲ使用シ
所要ノ偽裝ヲ爲シ且勉メテ掩體、障礙物等ノ工事ヲ施スヲ要ス而シテ工事
ノ實施ニ關シテハ小哨長之ヲ命ズルモノトス
歩哨ハ高所ニ在ルトキハ音響ヲ聽キ火煙ヲ視ルニ便ニシテ夜間低地ニ在ル
トキハ敵ヲ空際ニ透視シ得ルノ利アリ而シテ晝夜其ノ位置ヲ變更スルコト
ハ監視ノ爲往々必要ナルノミナラズ之ニ依リテ夜間ニ於ケル敵ノ奇襲ヲ避
ケ得ルコトアリ
瓦斯ニ對スル態度大ナルトキハ特ニ風向、地形等ニ慮ジ瓦斯使用ノ徵候、
瓦斯ノ洩來等ヲ發見スルニ便ナル如ク歩哨ノ位置ヲ決定スルヲ要ス
第二百三十 歩哨掛又ハ分哨長ハ任務ヲ受クルヤ部下ヲ率キ所要ノ發成ヲ
爲シツツ速カニ其ノ哨所ニ到リ遮蔽シテ取敢ズ監視ニ任ジ小哨長ノ來ルヲ
待ツモノトス此ノ際小哨長誘導ノ爲案内者ヲ出スヲ可トスルコトアリ

歩哨掛又ハ分哨長ハ特別守則ヲ受クルヤ之ヲ兵ニ十分徹底セシメ歩哨ノ爲
所要ノ設備ヲ施シ地形ヲ諳識セシメ爾後復哨ニ在リテハ歩哨掛其ノ交代兵
ヲ率キテ小哨ノ位置ニ歸還スルモノトス
第二百三十一 歩哨線ニ在ル歩哨ハ左ノ一般守則ニ基キ行動スベキモノ
トス

- 一、絶エズ敵方ヲ監視シ併セテ四圍ヲ警戒シ總テノ微候ニ深ク注意ス
敵ニ關シ發見セバ良ク之ヲ確メテ其ノ一名ハ報告シ若シ猶豫シ難キト
キハ急射撃又ハ信號ヲ爲シ且一名ハ急報ス
少數ノ敵兵近接セバ殺スカ又ハ捕獲スベシ
- 二、歩哨線ノ出入ヲ計スハ我が軍ノ部隊、將校、斥候、巡察、傳令トシ
爾餘ノ者ニ關シテハ小哨長ノ指示ヲ受ク
夜間近づく者アラバ銃ヲ構ヘテ良ク確メ彼我判明セザルトキハ機先ヲ
制シテ「誰カ」ト呼ブ三回呼ブモ答ナケレバ殺スカ又ハ捕獲スベシ

警戒 駐軍間ノ警戒

一一九

自動車ハ停止セシメテ取調ブベシ

歩哨ノ命ニ反スル者ハ殺スカ又ハ捕獲スベシ

三、出發スル斥候ヨリハ任務、経路、歸來ノ地點、時刻等ノ協定ヲ聽キ

自己見聞ノ狀況ヲ告ゲ歸來スル斥候ヨリハ其ノ見聞セシ事項ヲ聞クベ

シ

四、白旗ヲ掲グ遠方ヨリ軍使クルヲ表ハス者ト降参人トニ對シテハ敵ト

シテ取扱ハズ歩哨線外ニ之ヲ止メ敵ノ方向ニ面セシメ降参人ニハ武器

ヲ棄テシメ乘馬(車)者ハ下馬(車)セシメ速カニ報告スベシ此ノ際無用

ノ談話ヲ避ケ特ニ欺カレザル様注意スベシ

五、歩哨ハ喫煙スベカラズ命令ナケレバ坐臥スルヲ得ズ銃ハ手ヨリ放ス

ベカラズ晝間ハ立銃、提銃又ハ腕ニ銃ヲ、夜間ハ提銃又ハ腕ニ銃ヲ爲

ス

第二百三十二

小哨長ハ歩哨ノ特別守則ヲ定メ良ク之ヲ徹底セシム其ノ内

容ハ狀況ノ推移ニ應ジ適時補修スベキモノトス
特別等則ニ於テ示スベキ事項及順序竊ネ左ノ如シ

其ノ歩哨ノ番號

必要ナル道路、村落、地物等ノ名稱（要スレバ寫景圖、要圖等ヲ利用ス）
敵情

前方ニ在ル我方部隊及斥候ノ狀況

特ニ監視スベキ要地又ハ方向

敵ノ瓦斯使用及之ニ對スル警戒法等ニ關シ注意スベキ事項

隣歩哨ノ位置、番號及之トノ連絡法

小哨、中隊等ノ位置及之ニ通ズル經路

歩哨ノ監視法、姿勢、交代法要スレバ瓦斯兵ノ行動、敵襲ニ際シ取ルベ

キ處置

信號及警報

警戒 駐軍間ノ警戒

1111

警戒 砲軍間ノ警戒

其ノ他特ニ注意スベキ事項

第二百三十三 歩哨ハ敵襲ニ方リ後退ヲ命ゼラレアル場合ニ於テモ過早ニ其ノ位置ヲ棄ツルコトナク沈著シテ行動シ敵ト接觸シツツ後退スルヲ要ス此ノ際我ガ部隊ノ位置ヲ敵ニ知ラシメザルコト及我ガ部隊ノ射撃ヲ妨害セザルコトニ注意スルヲ要ス

第二百三十四 複哨ノ交代ハ歩哨掛立會ノ下ニ之ヲ行ヒ下番者ハ見聞セシ事件及我ガ軍ノ斥候ニシテ前方ニ出デクル者アルトキハ其ノ任務、経路、歸來ノ地點、時刻等ヲ上番者ニ申送ルモノトス此ノ際監視ヲ中絶セザルコト及交代ノ往復等ニ際シ敵ニ暴露セザルコトニ注意スルヲ要ス

分哨ニ於ケル監視兵ノ交代モ亦前項ニ準ズ
第二百三十五 銃前哨ノ動作及守則ハ歩哨ニ準ズ但シ報告ハ通常其ノ位置ヲ離ルルコトナク之ヲ行フモノトス

第六節 對空監視哨

第二百三十六 對空監視哨ノ兵力及勤務ノ要領ハ前哨勤務ニ於ケル歩哨ノ要領ニ準ズ而シテ特ニ眼鏡、遮光眼鏡、簡易ナル連絡器材等ヲ使用セシムルヲ可トス

對空監視哨ヲ配置スベキ位置ハ上空ニ對スル視界廣闊ニシテ飛行音ノ聽取容易ナルト共ニ指揮官及對空射撃ニ任ズル部隊トノ連絡ニ便ナルヲ要ス
對空監視哨ハ狀況ニ依リ他ノ哨兵ヲシテ之ヲ兼ネシムルコトアリ又遠ク推進スルモノニ在リテハ自衛及連絡ノ爲特ニ兵力及器材ヲ増加スルコトアリ
第二百三十七 對空監視哨ハ左ノ一般守則ニ基キ行動スベキモノトス

一、對空監視哨ハ彼我飛行機ノ識別法ヲ辨ヘ常ニ上空ヲ監視シ音響ニ注意ス敵飛行機ニ關シ發見セバ監視ヲ中絶スルコトナク直チニ指揮官ニ報告シ附近ノ對空射撃ニ任ズル部隊ニ通報ス發見シタル飛行機彼我何

警戒 駐軍間ノ警戒

一二三

1583

1285

警戒 駐軍間ノ警戒

一二四

レニ屬スルヤ不明ナルトキモ亦同ジ
二、友軍飛行機ニシテ我ニ向ヒ來ルトキハ之ヲ指揮官ニ報告ス
第二百三十八 對空監視哨ノ特別守則ニ於テ示スベキ事項及順序概ネ左ノ
如シ

其ノ監視哨ノ名稱

方位及必要ナル地名

要スレバ彼我飛行機ノ識別法

要スレバ特ニ監視スベキ方向及監視法

報告スベキ指揮官及連絡スベキ部隊ノ位置

要スレバ報告又ハ通報スベキ事項

報告又ハ通報ノ手段

其ノ他特ニ注意スベキ事項

第七節 斥候、巡察

第二百三十九 前哨各部隊ハ搜索ノ爲所要ノ斥候ヲ派遣シ又歩哨線前ノ要地監視、敵兵捕獲、敵襲發見等ノ爲必要ノ地點ニ之ヲ駐止或ハ潜伏セシム

斥候ハ敵襲ヲ知リタルトキハ先ヅ信號又ハ急射撃ヲ以テ之ヲ急報スルモノトス

斥候ハ當時ノ狀況之ヲ許セバ背後ヲ御シ或ハ馬裝ヲ輕減シテ派遣スルヲ有利トス

斥候歸來ノ時刻ハ之ヲ概定スルヲ通常トス

第二百四十 斥候ハ歩哨線ヲ通過スルトキ其ノ近隣ノ歩哨ニ任務、經路、歸來ノ地點、時刻等ノ概要ヲ告ゲ歩哨ノ見聞セル新狀況ヲ聽取シ歸來ノ際ニハ見聞セシ事件中歩哨ニ必要ナル事項ヲ告知スルモノトス

警成 駐軍簡ノ警成

斥候ノ歸路往路ト異ナルトキハ之ヲ派遣シタル部隊長ハ其ノ歸路ヲ監視スル歩哨ニ斥候ノ歸來スル概略ノ時刻等ヲ知ラシメ置クヲ要ス夜間ニ於テ特ニ然リトス

第二百四十一 斥候ノ動作ハ任務及諸般ノ狀況ニ依リ著シキ差異アルモ勉メテ敵眼ヲ避ケ靜謐機敏ニ行動シ速カニ所命ノ地點ニ進出シテ目的ヲ達成スルコトニ勉ムルヲ要ス而シテ諸種ノ徵候就中夜間ハ音聲ニ注意シ且常ニ地形ヲ諳識スルコト緊要ナリ又要スレバ往路ト異ナル歸路ヲ選ビ敵ニ中斷セラルルノ虞ナカラシムルヲ可トス

第二百四十二 前哨各部隊ハ歩哨線内ノ監視、部下部隊及歩哨ノ監視、歩哨ヲ配置セザル地區ノ搜索、隣接部隊トノ連絡等ノ爲巡察ヲ派遣スルモノトス

歩哨線等ニ於テ射撃其ノ他喧噪セシトキニ在リテモ亦巡察ヲ派遣シ其ノ事實ヲ確メ且歩哨等ヲ援助セシムルコトアリ

巡察ノ人員ハ目的ニ應ジ之ヲ定ムルモノトス

第八節 前哨部隊ノ交代

第二百四十三 前哨部隊ノ配置數目ニ互ルトキハ之ヲ交代セシムルヲ可トス就中小哨ハ概ネ二十四時間以内ニ交代セシムルモノトス而シテ交代ハ爲シ得レバ拂曉ニ於テ之ヲ終ルヲ有利トスト雖モ時刻ノ選定ハ當時ノ狀況ヲ考慮シテ之ヲ定ムルヲ要ス

小哨ノ交代ハ靜謐且隱蔽シテ之ヲ行ヒ聲波ヲ中絶セザルコト緊要ナリ而シテ舊小哨長ハ豫メ新小哨長ニ緊要ノ事項ヲ申送り然ル後協同シテ歩哨ヲ交代スルヲ可トス舊歩哨掛又ハ分哨長モ亦新歩哨掛又ハ分哨長ニ其ノ守則及特ニ知ルヲ要スル事項ヲ申送ルモノトス

交代ト同時ニ新舊兩小哨ヨリ協同ノ斥候ヲ派遣シ新小哨ノ斥候ヲシテ歩哨線前ノ地形ヲ諳識セシムルヲ可トス

警戒 駐軍間ノ警戒

一二七

1587

1289

警戒 駐軍間ノ警戒

一二八

第九節 騎兵及機械化部隊ノ警戒

第二百四十四 獨立シテ宿營スル騎兵部隊ノ警戒ハ本章第一乃至第八節ノ要領ニ準ズルノ外特ニ宿營地ノ選定ヲ適切ニシ警戒部隊ノ兵力ヲ節約シ且之ヲ大ナル縱長ニ區分スルコトナク其ノ特有ノ搜索力ト諸種ノ補助手段トヲ利用シテ警戒ヲ完ウスルコト緊要ナリ

第二百四十五 騎兵ハ巧ニ地形ヲ利用シ所要ノ工事ヲ施シ且火器ヲ有效ニ使用スルコト緊要ナリ機甲部隊ニ對スル場合ニ於テ特ニ然リトス

馬匹及車輛ハ常ニ安全ナル地ニ位置セシメ晝間ニ於テハ上空ニ遮蔽シ要スレバ適宜分置スルヲ可トス

第二百四十六 一前哨區ノ兵力ハ通常騎兵一中隊以下トシ所要ニ應ジ機關銃、對戰車火炮等ヲ配屬ス狀況ニ依リ前哨ノ支援クラシムル爲必要ナル方側ニ宿營スル部隊ヲシテ特ニ戰鬥準備ヲ爲サシムルコトアリ

885T

1288

警戒 駐軍間ノ警戒

一二九

數前哨區ノ部隊ヲ騎兵指揮官直轄指揮スベキヤ或ハ部下ノ一若クハ數部隊
 長ヲシテ指揮セシムベキヤハ狀況ニ依ル
 時トシテ各部隊長ヲシテ夫々當面ノ警戒ヲ擔任セシムルコトアリ
 第二百四十七 前哨中隊ハ通常歩哨ヲ配置シ特ニ緊要ナルトキハ小哨ヲ派
 遣ス
 小哨及歩哨其ノ馬匹又ハ車輛ヲ後方部隊ノ位置ニ殘置シ徒歩ニテ服務スベ
 キヤ否ヤハ上級指揮官之ヲ定ム
 歩哨乘馬ニテ服務スルトキハ揚銃ヲ爲スカ又ハ銃ヲ鞍上ニ横クフルモノト
 ス
 前哨ハ晝間監視線ヲ擴張スル爲歩哨ヲ夜間ノ位置ヨリ更ニ推進スルコトアリ
 第二百四十八 前哨中隊長及小哨長ハ戰備ノ保持ニ關シ一般ノ前哨ニ於ケ
 ル前哨中隊長及小哨長ニ準ズルノ外馬ノ飼付、鞍ノ改裝、車輛ノ整備等ニ

開シ規定スルモノトス而シテ鞍ハ卸サシメザルヲ通常トス
 第二百四十九 騎兵ハ前哨ヲ配置スルノ外敵方ニ派遣シアル搜索隊等ト連絡スルヲ要ス

搜索隊等遠ク敵方ニ在ル交通路上ノ要點ヲ占領シアルトキハ後方ニ在ル部隊ノ警戒ヲ容易ナラシムルノ利アリ

第二百五十 獨立シテ宿營スル機械化部隊ノ警戒ハ騎兵ノ要領ニ準ズルノ外特ニ注意スベキ事項左ノ如シ

兵種及爾後ノ企圖ヲ不明ナラシムルコトニ著意シ且敵ノ奇襲ニ對スル車輛ノ保護ニ注意ス

警戒ニ任ズル部隊ハ之ヲ徒歩ニテ派遣スベキヤ或ハ乘車セシメテ派遣スベキヤ或ハ兩者ヲ併用スベキヤハ狀況ニ依ル而シテ裝甲車輛ハ通常一

又ハ二車ヲ以テ一監視哨ト爲ス

狀況ニ依リ乘車セル小部隊ヲ連絡確實ナル要點ニ派遣シ警戒ニ任ゼシム

ルヲ有利トスルコトアリ
利用スベキ地物ナク且敵ニ開スル顧慮多キ状況ニ於テハ各部隊ハ適宜車
陣ヲ設クルコトアリ

第十節 飛行場ニ於ケル航空部隊ノ警戒

第二百五十一 飛行場ニ於ケル航空部隊ノ警戒ハ本章第一乃至第八節ニ準
ズルノ外本節ニ據ルモノトス
第二百五十二 飛行場ハ戦闘一般ノ部署ニ依リ掩護セラルト雖モ敵ノ空襲
ヲ受ケ又騎兵、機甲部隊、潜入セル斥候等ノ攻撃目標タルコト屢ナルヲ
以テ航空部隊ノ指揮官以下特ニ警戒心ヲ緊張シ敵ヲシテ乗ズルノ隙ナカラ
シムルコト緊要ナリ
第二百五十三 飛行場警戒ハ主トシテ當該飛行場ニ配置セラレタル地上勤
務部隊之ニ任ズルモノトシ状況ニ依リ飛行部隊ヲシテ之ニ協力セシムルモ

警戒 駐軍間ノ警戒

一三一

1591

1230

發成 陸軍閣ノ發成

1111

ノトス高級指揮官ハ所要ニ應ジ之ニ歩兵、高射部隊等ヲ配屬若クハ協力セ
 シムルコトアリ獨立セル小部隊ノ爲特ニ然リ
 第二百五十四 飛行場ニ於ケル地上勤務部隊ノ指揮官ハ上級指揮官ノ定ム
 ル所ニ基キ警備部隊ノ配置、勤務ノ方法、敵襲ニ應ズル動作其ノ他必要ナ
 ル事項ヲ定ムルモノトス
 第二百五十五 警備部隊ノ配置ハ飛行場使用ノ目的、警備部隊ノ兵力、敵
 情、地形等ニ依リ差異アリト雖モ警戒ノ重點ヲ飛行機及飛行場ノ主要ナル
 施設ニ置キ爲シ得ル限り飛行場附近ニ於ケル附屬施設ヲモ併セ警戒スル如
 ク之ヲ定ムルモノトス
 第二百五十六 警備部隊ハ飛行場警戒ノ爲最モ重要ナル地點ニ位置シ對空
 射撃ニ任ズル部隊ヲ適當ニ配置シ緊要ナル方面ニハ要スレバ小ナル部隊ヲ
 出シ必要ナル地點ニ歩哨(對空監視哨)ヲ配置シ適宜斥候、巡察ヲ派遣スル
 モノトス此ノ際巧ニ地形、地物ヲ利用シ工事ヲ施シ附近ノ部隊ト連絡シ其

1592

1923

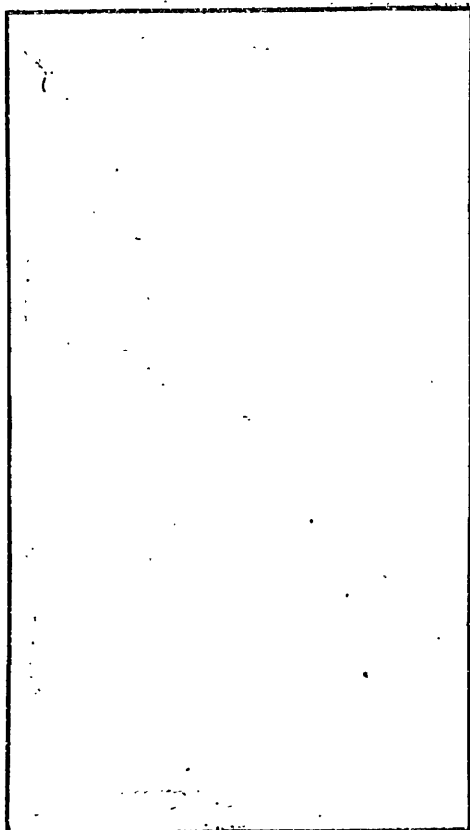
警戒 駐軍間ノ警戒

一三三

ノ他各種補助手段ヲ盡クシ警戒ヲ嚴ナラシムルヲ要ス
 第二百五十七 飛行場ニ於ケル飛行機ノ配置ハ状況特ニ彼我飛行部隊ノ活
 動狀態及晝夜ノ別等ニ依リ差異アリト雖モ晝間ハ勉メテ之ヲ分散シ夜間ハ
 勉メテ之ヲ收縮スル等警戒及掩護ニ便ナラシムルノ著意ヲ必要トス
 第二百五十八 飛行場ニ於ケル航空部隊ハ敵襲ニ方リ整齊迅速ニ必要ノ配
 置ニ就キ直チニ之ヲ擊退シ得ルノ態勢ニ在ルコト緊要ナリ之ガ爲連絡施
 設、勤務ノ系統、搜索及諜報等ヲ適切ナラシムルヲ要ス
 飛行場ノ危險ニ際シテハ附近ニ在ル軍隊ハ緩ヒ命令ナキト雖モ状況之
 ヲ許ス限リ援助スベキモノトス

1593

1223



終成 駐軍間ノ終成

一三三

1594

1212

第五篇 行軍

通則

第二百五十九 行軍ハ作戰行動ノ基礎ヲ成スモノニシテ其ノ計畫ノ適切・實施ノ確實ナルハ諸般ノ企圖ニ好果ヲ得ルノ要素ナリ而シテ軍隊ハ堅忍不拔克ク困難ナル地形・天候ヲ克服シ遠日長距離ニ互ル行軍ヲ敢行シ得ザルベカラズ

第二百六十 敵ニ接觸スベキ處多キトキハ戦闘準備ヲ主トシ又敵ニ接觸スベキ處少キトキハ軍隊ヲ愛惜スルコトヲ考慮シ行軍ヲ行ヒ常ニ戰術上要求スベキ程度ト戦力貯存ノ爲考慮スベキ程度トノ調和ヲ適切ナラシムルコト緊要ナリ

第二百六十一 狀況ニ依リ日々ノ行程ヲ増大シテ強行軍ヲ行フヲ要スルコ

行軍 通則

二三五

1595

1204

行軍 通則

一三六

トアリ斯克ノ如キ場合ニ於テハ所要ニ應ジ休日ヲ廢シ休宿時間ヲ減少シ時
トシテ晝夜ヲ通ジ行軍ヲ繼續スルモノトス

第二百六十二 狀況ニ依リ短時間ニ所望ノ地點ニ到達スル如ク急行軍ヲ行
フヲ要スルコトアリ斯克ノ如キ場合ニ於テハ所要ニ應ジ速度ヲ増シ休憩ヲ
減ジテ行進スルモノトス此ノ際服裝ヲ輕易ニシ人馬ノ負擔量ヲ輕減スルヲ
得バ有利ナリ

第二百六十三 我ガ企圖及行動ヲ秘匿セントスル場合、軍隊ノ移動急ヲ要
スル爲メ間ノミノ行軍ニ依リ難キ場合、敵ノ有力ナル機甲部隊等ニ活動ノ
隙ヲ與ヘザラントスル場合、夏季炎熱ヲ避ケントスル場合等ニ於テハ通常
夜行軍ヲ行フヲ有利トス

夜行軍ニ於テハ地形ノ障礙、小敵ノ妨害、寒氣ノ影響等ノ爲不慮ノ困難發
勞ヲ來サザル如ク豫メ周到ナル注意ヲ必要トス

行李、輜重ノ行動ヲモ夜間ニ於テノミ爲サシムル場合ニ於テハ夜ノ行程ヲ

減少セザランガ爲ニハ縱隊ヲ分チテ全長徑ヲ短縮スル等特別ノ手段ヲ講ズルヲ要ス

第二百六十四 行軍速度ハ狀況ニ依リ差異アリト雖モ諸兵連合ノ大部隊ニ在リテハ休憩ヲ合シ一時間四杆ヲ標準トシ自動車中隊ニ在リテハ長距離行軍ノ爲休憩ヲ合シ一時間十二乃至二十杆ヲ標準トス

第二百六十五 一日ノ行程ハ狀況ニ依リ差異アリト雖モ連日行軍スル場合ニ於ケル標準左ノ如シ

諸兵連合ノ大部隊ニ在リテハ約二十四杆

騎兵ノ大部隊ニ在リテハ四十乃至六十杆

自動車編制部隊ニ在リテハ諸般ノ狀況ニ依リ著シキ差異アルモ自動車中隊及之ニ準ズル部隊ニ在リテハ百杆内外

第二百六十六 行軍中軍紀ヲ嚴格ニシ志氣ヲ振作シ人馬ノ衛生及給養ヲ良好ナラシメ且諸車輛ノ保護ニ勉ムルハ行軍力ヲ保持増進シ行軍ノ實施ヲ確

行軍 通則

二三七

實ナラシムル爲極メテ緊要ノ事項トス

行軍スル部隊ハ其ノ行軍ノ實施ヲ確實ナラシムルノ外進路ヲ閉塞シ他部隊ノ行動ヲ阻時セザルコト緊要ナリ車馬部隊ニ於テ特ニ然リ

行軍間人馬ノ衛生ヲ良好ナラシムル爲靴傷、馬具傷、四肢ノ疾病、凍傷、腸病等ヲ豫防スルハ各級指揮官就中中隊長及之ニ準ズル部隊長ノ特ニ注意スベキ要件トス

第二百六十七 行軍間ニ於ケル連絡ハ其ノ要度少キ場合ニ於テハ適時傳令ヲ用フルノ外通常連絡ノ時刻、地點等ヲ定メテ通信ヲ實施ス而シテ其ノ要度増大スルニ伴ヒ飛行機其ノ他各種ノ連絡機關ヲ使用シ所要ノ指揮官間ニ在リテハ勉メテ電氣的通信ニ依リ常時連絡シ得ル如クスルコト緊要ナリ

第二百六十八 多數ノ應召員及徵發馬匹ヲ含ム部隊ハ特ニ機會ヲ求メテ演練ヲ重ネ行軍ニ習熟セシムルコト緊要ナリ